

施行日R6.4.1

変更作成日R7.1.29.

支援プログラム

事業所理念	「子ども一人ひとりの心に寄り添い、豊かな育ちの場を創ること」をモットーに、障がいのある子どもたちの居場所となり、親と子の心のよりどころになることを目指しています。子どもの将来を見通した支援を、親さんと一緒に考えていくことを大切にしています。		
支援方針	仲間と一緒に遊び、文化活動、スポーツ、生活などの支援を通して自立に向けて成長、発達を促していきます		
営業時間	・平日 13:30～17:30 ・長期休暇(学校休業日) 9:00～17:00	送迎実施の有無	送迎あり
支援内容			
本人支援	健康・生活	平日・長期休暇問わず、通所をとおして日々の生活リズムを整えたり、身支度やトイレなどの身辺自立の力が身につけていけるよう支援します。重度心身障害児については可能なかぎりのケアサポートを実施し、健康状態の維持・向上をしていきます。	
	運動・感覚	感覚遊びなどをとおして発達を促したり、ボディイメージを獲得していけるよう支援します。日々の遊びやエアーマット、外出等で楽しく遊びながら身体や手先の使い方を知ったり、エネルギーの発散、運動不足の解消等をしていきます。	
	認知・行動	さまざまな活動をとおして体験・経験するだけでなく、各児童の発達段階に合わせて内容や過程を理解して取り組めるよう、丁寧に対応していきます。強いこだわりや問題行動等がみられた場合は、該当児童についてさらなる理解を深められるよう関係諸機関との情報交換等を行ったり、必要に応じて専門家をお招きして事例検討することで、よりよい支援が実現できるようにします。	
	言語・コミュニケーション	各児童の発達段階や状態に見合った意思表示や意思疎通の力、あるいは言語にかぎらない手段や方法を身につけていけるよう支援していきます。言葉でコミュニケーションできる児童については、言葉の使い方のお手本を見せたり、語彙や表現方法を増やしていけるよう働きかけを工夫していきます。	
	人間関係・社会性	個別対応あるいは小集団を形成し、各児童の発達段階に合った『やりとり』の経験を積んでいきます。アンガーコントロールやこだわりなど、児童が自分自身を知ることで社会に適した行動をとれる力が少しずつ身につけていけるよう支援していきます。	
家族支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・悩み事ができるだけ解決するよう努め、必要に応じて会議の招集をかけます。</li> <li>・子どもの発達状況について共通理解しアドバイスします。</li> </ul>		
移行支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長期休暇時に外部の講師の方やボランティアの方、事業所の行事の時に地域の方とふれあいます。</li> <li>・利用時間の長い時に社会経験ができる場所へ出かけます。</li> <li>・中学、高校、高校卒業後において移行先へのサポートをします。</li> </ul>		
地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係機関で行われる連携会議に参加します。</li> <li>・各関係機関からの情報に基づき、具体的な場面での子どもとの関わり方の提案や関わり方のポイントについて情報交換をします。</li> <li>・将来の移行を見据えた対策を検討します。</li> </ul>		
職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外部研修会、内部研修会、専門家を招いての独自の学習会、資格取得 など</li> </ul>		
主な行事	<ul style="list-style-type: none"> <li>・かがやきキッズクラブ作品展、川や森などで自然活動、クリスマス会、ハロウィン、その他 季節に応じた制作やクッキング、親子活動、子どもの年齢に見合った活動（小学生は公園で遊ぶ一方、中高生は自分でお金の管理をして買い物の経験をするなど）</li> </ul>		